

カーボンフットプリント製品種別基準（CFP-PCR）

（認定 CFP-PCR 番号：PA-CL-02）

対象製品：プラスチックタイル

2013年9月24日 認定

カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム

※認定CFP-PCRの有効期限は認定日より5年間とする。

※このCFP-PCRに記載されている内容は、カーボンフットプリントコミュニケーションプログラムにおいて、関係事業者等を交えた議論の結果として、CFP-PCR改正の手続を経ることで適宜変更および修正することが可能である。

“プラスチックタイル”

Carbon Footprint of Products- Product Category Rule of

“Plastic tile ”

本文書は、一般社団法人産業環境管理協会が運営管理する「カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム」(CFP プログラム)において、「プラスチックタイル」を対象とした CFP の算定・宣言のルールについて定める。

CFP の算定・宣言を行おうとする事業者等は、本文書および「カーボンフットプリント算定・宣言に関する要求事項」に基づいて、CFP の算定・宣言を行う。

No.	項目	内容
1	適用範囲	この CFP-PCR は、CFP プログラムにおいて「プラスチックタイル」を対象とする CFP 算定および CFP 宣言に関する規則、要求事項および指示事項である。 なお、対象製品の関係法令に抵触する内容については、法令順守を優先する。
2	対象とする製品種別の定義	
2-1	製品種別	この CFP-PCR では、日本標準商品分類「プラスチックタイル(821723)」を対象とする。
2-2	機能	プラスチックタイルの提供
2-3	算定単位 (機能単位)	販売単位もしくは面積単位(m ²)とする。
2-4	対象とする構成要素	次の要素を含むものとする。 ・本体(中身および容器包装) 容器包装は、提供先の手元にわたるものとし、個装、内装、外装を問わない。 ・梱包資材 ・接着剤等の工事用消耗資材(施工時) ・ワックス等のメンテナンス用消耗資材(使用時)
3	引用規格および引用 CFP-PCR	次の CFP-PCR を引用する。 ・PA-BB 紙製容器包装(中間財) ・PA-BC プラスチック製容器包装 以上の容器包装関連 CFP-PCR2 件をまとめて、以後「容器包装 CFP-PCR」と記述する。
4	用語および定義	①想定使用期間 製品のライフサイクルにおける GHG 排出量の算定にあたり、使用・維持管理段階の負荷を計上する期間 製品カタログ、製品仕様書、あるいは関連法規等で製品特性として定められた寿命や保守・交換期間、または減価償却の法定耐用年数等により設定する。 ②プラスチックタイル おもにプラスチック樹脂を原料とするタイルをいう。プラスチックタイルにはおもに「複層ビニル床タイル」や「コンポジションタイル」等が含まれる。 ③複層ビニル床タイル クリア層やバッカー層など複数の層で構成されるタイルをいう。 ④コンポジションタイル 材料を混成し圧力を加えることで製造されるタイルをいう。 ⑤PVC (polyvinyl chloride) レジン 塩化ビニル樹脂を主成分とする粉末状または粒上の材料をいう。

		<p>⑥再生 PVC (polyvinyl chloride) リサイクル工程を経て供給される塩化ビニル樹脂を主成分とする紛体状または粉砕、粒状等の材料をいう。</p> <p>⑦充填剤 製品の寸法安定性、対衝撃性、成型加工性を得るために配合される、主に炭酸カルシウムなどをいう。</p> <p>⑧添加剤 可塑剤、顔料、安定剤などが含まれる。</p> <p>⑨ガラス基材 プラスチックタイルの寸法を安定させるためのガラス性シートのことをいう。</p> <p>⑩意匠シート タイルの表層にある柄や色を付加するシートのことをいう。</p> <p>⑪梱包資材 段ボール、ハードボード（型紙）を含む出荷段階で使用する資材をいう。</p> <p>⑫表層および副資材 ここでいう表層とは、製品の表面の摩耗防止、メンテナンス容易性を確保する為に使用されるクリアフィルムなどのシートおよびデザイン性を付加する為に使用される意匠シートなど、主に製品の表面部分に使用される材料である。副資材とは、商品の中間層に利用されるガラス性シートなど、中間層に使用される構成材料ではない材料である。</p> <p>⑬本体 ここでいう本体とは、主にプラスチック樹脂等を素材とする成型層、表層および副資材等で構成される敷物状の製品をさす。</p> <p>⑭廃棄物等 処分されるもの、リサイクルされるものおよびリユースされるもの。</p> <p>⑮廃棄物等の適正処理 処分されるものの焼却および埋立等の処理、ならびにリサイクルされるもののリサイクルの準備プロセス。</p>
5	製品システム(データの収集範囲)	
5-1	製品システム(データの収集範囲)	<p>次のライフサイクル段階を対象とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料調達段階 ・生産段階 ・流通段階 ・使用・維持管理段階 ・廃棄・リサイクル段階 <p>ただし、原材料調達段階と生産段階でデータを個別に収集することが困難なプロセスは、いずれかの段階にまとめて計上してもよい。 なお、中間財の場合は、「流通段階」および「使用・維持管理段階」を除くこと。</p>
5-2	カットオフ基準およびカットオフ対象	<p>【カットオフ対象とする段階、プロセスおよびフロー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品を生産する設備などの資本財の使用時以外の負荷 ・生産工場などの建設に係る負荷 ・複数年使用する資材の負荷 ・投入物を外部から調達する際に使用される容器包装や輸送資材の負荷 ・副資材のうち、マスク、軍手等の汎用的なものの負荷 ・事務部門や研究部門などの間接部門に係る負荷 ・妥当なシナリオのモデル化ができない場合の使用・維持管理段階に係る負荷

		<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用変化に係る負荷 ・流通時の保管倉庫における常温保管に係る負荷。 ・販売プロセスに係る負荷
5-3	ライフサイクルフロー図	附属書 A(規定)に一般的なライフサイクルフロー図を示す。CFP の算定時には、このライフサイクルフロー図から外れない範囲で算定製品ごとに詳細化したライフサイクルフロー図を作成しなければならない。
6	全段階に共通して適用する CFP 算定方法	
6-1	一次データの収集範囲	一次データの収集範囲は(7-2)、(8-2)、(9-2)、(10-2)および(11-2)に記載する。なお、一次データの収集範囲外のデータ収集項目についても、必要に応じて一次データを収集してよい。
6-2	一次データの品質	特に規定しない。
6-3	一次データの収集方法	特に規定しない。
6-4	二次データの品質	特に規定しない。
6-5	二次データの収集方法	特に規定しない。
6-6	配分	<p>【配分基準に関する規定】 重量比で配分する。 なお、プロセスの特性に応じてその他の配分方法を設定することが出来るが、その妥当性は検証の対象とする。</p> <p>【配分の回避に関する規定】 特に規定しない。</p> <p>【配分の対象に関する規定】 特に規定しない。</p>
6-7	シナリオ	<p>【輸送に関するデータ収集】 輸送量(または燃料使用量)に関して一次データの収集が困難な場合、および各段階でシナリオを設定していない場合は、附属書 B(規定)のシナリオを使用しなければならない。</p> <p>【廃棄物等の取扱い】 処理方法について一次データの収集が困難な場合、および各段階でシナリオを設定していない場合、紙類やプラスチックのように焼却できるものはすべて焼却処理とし、金属のように焼却できないものはすべて埋立処理として算定する。なお、容器包装 CFP-PCR の対象となるものについては、容器包装 CFP-PCR の廃棄物等の処理のシナリオを適用してもよい。</p>
6-8	その他	特に規定しない。
7	原材料調達段階に適用する項目	
7-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	<p>① 成型層材料、表層および副資材の製造および生産段階への輸送に係るプロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PVC レジンの製造および輸送プロセス ・再生 PVC の製造および輸送プロセス ・充填剤の製造および輸送プロセス

		<ul style="list-style-type: none"> ・添加剤の製造および輸送プロセス ・表層の製造および輸送プロセス ②梱包資材の製造プロセスおよび生産段階への輸送に係るプロセス																		
7-2	データ収集項目	次表に示すデータ項目を収集する。 ① 「重要な原材料」の製造および輸送に係るプロセス <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">活動量の項目名</th> <th style="width: 15%;">活動量の区分</th> <th style="width: 25%;">活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「成型層材料、表層および副資材の構成要素」 製品生産サイトへ投入される原材料の製造に要する各構成要素の量 <構成要素> PVC レジン、再生 PVC、充填剤、添加剤、ガラスシート</td> <td style="text-align: center;">一次</td> <td style="text-align: center;">「各構成要素」 製造原単位</td> </tr> <tr> <td>「成型層材料、表層および副資材の構成要素」 原材料の製造サイトへの輸送量(または燃料使用量)</td> <td style="text-align: center;">※1</td> <td style="text-align: center;">「各輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> </tbody> </table> ②「梱包資材」の製造および輸送に係るプロセス <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">活動量の項目名</th> <th style="width: 15%;">活動量の区分</th> <th style="width: 25%;">活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「梱包資材」 製品生産サイトへの投入量</td> <td style="text-align: center;">一次</td> <td style="text-align: center;">「容器包装」 「付属品」 製造原単位</td> </tr> <tr> <td>「梱包資材(段ボール、ハードボード)」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)</td> <td style="text-align: center;">※1</td> <td style="text-align: center;">「各輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> </tbody> </table> ※1 次の項目を一次データとして収集する。 [燃料法の場合] ・輸送手段ごとの「燃料使用量」 [燃費法の場合] ・輸送手段ごとの「燃費」 ・輸送手段ごとの「輸送距離」 [トンキロ法の場合] ・輸送手段ごとの「輸送重量」	活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「成型層材料、表層および副資材の構成要素」 製品生産サイトへ投入される原材料の製造に要する各構成要素の量 <構成要素> PVC レジン、再生 PVC、充填剤、添加剤、ガラスシート	一次	「各構成要素」 製造原単位	「成型層材料、表層および副資材の構成要素」 原材料の製造サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位	活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「梱包資材」 製品生産サイトへの投入量	一次	「容器包装」 「付属品」 製造原単位	「梱包資材(段ボール、ハードボード)」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																		
「成型層材料、表層および副資材の構成要素」 製品生産サイトへ投入される原材料の製造に要する各構成要素の量 <構成要素> PVC レジン、再生 PVC、充填剤、添加剤、ガラスシート	一次	「各構成要素」 製造原単位																		
「成型層材料、表層および副資材の構成要素」 原材料の製造サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位																		
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																		
「梱包資材」 製品生産サイトへの投入量	一次	「容器包装」 「付属品」 製造原単位																		
「梱包資材(段ボール、ハードボード)」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位																		
7-3	一次データの収集方法および収集条件	特に規定しない。																		
7-4	シナリオ	特に規定しない。																		
7-5	その他	特に規定しない。																		
8	生産段階に適用する項目																			
8-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	①本体の生産(成型、加工、裁断、保管、梱包プロセス等) a)成型プロセス 成型プロセスには、バックカー層成型プロセス、チップ成型プロセスが含まれ																		

		<p>る。</p> <p>b)熱圧着および圧延プロセス 複層ビニル床材の場合、熱圧着プロセスで表層が副資材と圧着される。</p> <p>c)裁断プロセス 裁断プロセスには、裁断、梱包、保管のプロセスが含まれる。</p> <p>② サイト間輸送プロセス</p>																																				
8-2	データ収集項目	<p>次表に示すデータ項目を収集する。</p> <p>①本体の生産(成型、加工、裁断、保管、梱包等)プロセス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「水」 「燃料」 「電力」 製品生産プロセスへの投入量</td> <td>一次</td> <td>「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「廃棄物等」 「廃水」 ※2</td> </tr> </tbody> </table> <p>②サイト間輸送プロセス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「副資材(輸送用資材)」 サイト間輸送プロセスへの投入量</td> <td>一次</td> <td>「各副資材」 製造原単位</td> </tr> <tr> <td>「副資材(輸送用資材)」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「各輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> <tr> <td>「輸送物」 各サイト間の輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「各輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「廃棄物等」 ※2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 輸送量(または燃料使用量)については、7-2 に順ずる。</p> <p>※2 廃棄物等および廃水に関するデータ収集項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「廃棄物等」 「廃水」 処理方法ごとの排出量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「各処理方法」 処理原単位</td> </tr> <tr> <td>「廃棄物等」 各処理施設への輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「各輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> <tr> <td>「廃棄物等」のうちの化石資源由来成分</td> <td>一次</td> <td>「各化石資源由来</td> </tr> </tbody> </table>	活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「水」 「燃料」 「電力」 製品生産プロセスへの投入量	一次	「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位	「廃棄物等」 「廃水」 ※2			活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「副資材(輸送用資材)」 サイト間輸送プロセスへの投入量	一次	「各副資材」 製造原単位	「副資材(輸送用資材)」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位	「輸送物」 各サイト間の輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位	「廃棄物等」 ※2			活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「廃棄物等」 「廃水」 処理方法ごとの排出量	一次 または シナリオ	「各処理方法」 処理原単位	「廃棄物等」 各処理施設への輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位	「廃棄物等」のうちの化石資源由来成分	一次	「各化石資源由来
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																																				
「水」 「燃料」 「電力」 製品生産プロセスへの投入量	一次	「水」 「燃料」 「電力」 製造と供給および使用原単位																																				
「廃棄物等」 「廃水」 ※2																																						
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																																				
「副資材(輸送用資材)」 サイト間輸送プロセスへの投入量	一次	「各副資材」 製造原単位																																				
「副資材(輸送用資材)」 製品生産サイトへの輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位																																				
「輸送物」 各サイト間の輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位																																				
「廃棄物等」 ※2																																						
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																																				
「廃棄物等」 「廃水」 処理方法ごとの排出量	一次 または シナリオ	「各処理方法」 処理原単位																																				
「廃棄物等」 各処理施設への輸送量(または燃料使用量)	※1	「各輸送手段」 輸送原単位																																				
「廃棄物等」のうちの化石資源由来成分	一次	「各化石資源由来																																				

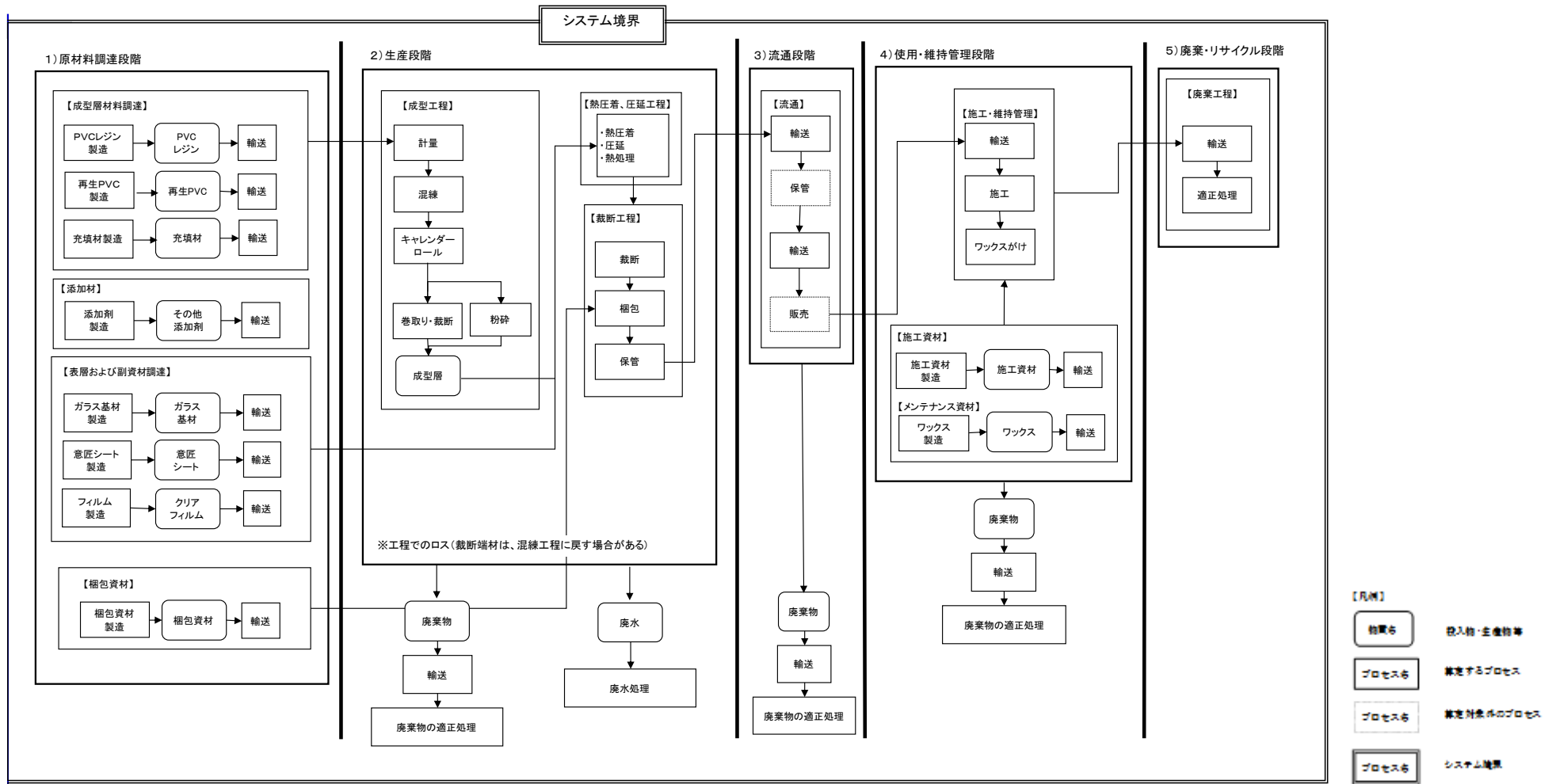
		<table border="1"> <tr> <td>焼却処理の量</td> <td>または シナリオ</td> <td>成分」 燃焼原単位</td> </tr> <tr> <td>「廃棄物等のうち有機物成分」 埋立処理の量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「各有機物成分」 嫌気性分解原単位</td> </tr> </table> <p>【配分のために収集する一次データ収集項目】 ・「本体」の生産量</p>	焼却処理の量	または シナリオ	成分」 燃焼原単位	「廃棄物等のうち有機物成分」 埋立処理の量	一次 または シナリオ	「各有機物成分」 嫌気性分解原単位									
焼却処理の量	または シナリオ	成分」 燃焼原単位															
「廃棄物等のうち有機物成分」 埋立処理の量	一次 または シナリオ	「各有機物成分」 嫌気性分解原単位															
8-3	一次データの収集方法 および収集条件	特に規定しない。															
8-4	シナリオ	<p>【廃棄に関するシナリオ】</p> <p>・適正処理に関して一次データの収集が困難な場合は、廃棄物の処理は、焼却処理 100% とする。</p>															
8-5	その他	特に規定しない。															
9	流通段階に適用する項目																
9-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	<p>【最終消費財の場合】</p> <p>流通段階は次のプロセスを対象とする。ただし、実際の輸送の中で存在しないプロセスについては検討しない。</p> <p>①「出荷品」の輸送、保管プロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造サイトから目的地までの輸送、保管に係るプロセス（生産サイトから保管倉庫、および店舗、直接販売の場合は生産サイトから施工現場に届くまでのプロセス） ・流通で新たに調達される梱包資材の輸送プロセス <p>【中間財の場合】</p> <p>流通段階は対象外とする。</p>															
9-2	データ収集項目	<p>次表に示すデータ項目を収集する。</p> <p>①「出荷品」の輸送、保管プロセス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「出荷品」 輸送量(または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> <tr> <td>「梱包資材(流通段階で新たに調達される梱包資材)」 出荷品の輸送、保管プロセスへの投入量</td> <td>二次 または シナリオ</td> <td>「副資材(輸送用資材)」 製造原単位</td> </tr> <tr> <td>「副資材(輸送用資材)」 出荷品の輸送、保管サイトへの輸送量 (または燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 「廃棄物等」 「廃水」 ※2 </td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 輸送量(または燃料使用量)については、7-2 に順ずる。 ※2 廃棄物等および廃水については、8-2 に順ずる。</p>	活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「出荷品」 輸送量(または燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位	「梱包資材(流通段階で新たに調達される梱包資材)」 出荷品の輸送、保管プロセスへの投入量	二次 または シナリオ	「副資材(輸送用資材)」 製造原単位	「副資材(輸送用資材)」 出荷品の輸送、保管サイトへの輸送量 (または燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位	「廃棄物等」 「廃水」 ※2		
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名															
「出荷品」 輸送量(または燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位															
「梱包資材(流通段階で新たに調達される梱包資材)」 出荷品の輸送、保管プロセスへの投入量	二次 または シナリオ	「副資材(輸送用資材)」 製造原単位															
「副資材(輸送用資材)」 出荷品の輸送、保管サイトへの輸送量 (または燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位															
「廃棄物等」 「廃水」 ※2																	

9-3	一次データの収集方法 および収集条件	特に規定しない。																								
9-4	シナリオ	【廃棄に関するシナリオ】 ・適正処理に関して一次データの収集が困難な場合は、廃棄物の処理は、焼却 処理 100% とする。																								
9-5	その他	特に規定しない。																								
10	使用・維持管理段階に適用する項目																									
10-1	データ収集範囲に含ま れるプロセス	【最終消費財の場合】 次のプロセスを対象とする。 ① 施工プロセス 施工の段階では、接着剤を使用し本体を張り付ける。 ② 使用・保守プロセス(ワックスがけプロセス) 使用の段階では、ワックスを使い定期的にメンテナンスを行う。 ③ 廃棄物等の輸送および処理プロセス 使用・維持段階で発生する廃棄物は、梱包資材と施工の段階で発生する本 体の端材を対象とする。 【中間財の場合】 使用・維持管理段階は対象外とする。																								
10-2	データ収集項目	次表に示すデータ項目を収集する。 ① 施工プロセス <table border="1" data-bbox="571 1010 1442 1442"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量 の区分</th> <th>活動量に乗じる 原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「施工用消耗品(接着剤)」 施工プロセスへの投入量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「設置用消耗品」 製造原単位</td> </tr> <tr> <td>「施工用消耗品(接着剤)」 生産サイトから使用者までの輸送量(ま たは燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「廃棄物等(梱包資材、設置用消耗品等)」 「廃水」 ※2</td> </tr> </tbody> </table> ② 使用・保守プロセス(ワックスがけプロセス) <table border="1" data-bbox="571 1518 1442 1951"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量 の区分</th> <th>活動量に乗じる 原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「消耗品(ワックス)」 想定使用期間における投入量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「消耗品」 製造原単位</td> </tr> <tr> <td>「消耗品(ワックス)」 生産サイトから使用者までの輸送量(ま たは燃料使用量)</td> <td>※1</td> <td>「輸送手段」 輸送原単位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「廃棄物等(梱包資材)」 「廃水」 ※2</td> </tr> </tbody> </table> ※1 輸送量(または燃料使用量)については、7-2 に順ずる。	活動量の項目名	活動量 の区分	活動量に乗じる 原単位の項目名	「施工用消耗品(接着剤)」 施工プロセスへの投入量	一次 または シナリオ	「設置用消耗品」 製造原単位	「施工用消耗品(接着剤)」 生産サイトから使用者までの輸送量(ま たは燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位	「廃棄物等(梱包資材、設置用消耗品等)」 「廃水」 ※2			活動量の項目名	活動量 の区分	活動量に乗じる 原単位の項目名	「消耗品(ワックス)」 想定使用期間における投入量	一次 または シナリオ	「消耗品」 製造原単位	「消耗品(ワックス)」 生産サイトから使用者までの輸送量(ま たは燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位	「廃棄物等(梱包資材)」 「廃水」 ※2		
活動量の項目名	活動量 の区分	活動量に乗じる 原単位の項目名																								
「施工用消耗品(接着剤)」 施工プロセスへの投入量	一次 または シナリオ	「設置用消耗品」 製造原単位																								
「施工用消耗品(接着剤)」 生産サイトから使用者までの輸送量(ま たは燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位																								
「廃棄物等(梱包資材、設置用消耗品等)」 「廃水」 ※2																										
活動量の項目名	活動量 の区分	活動量に乗じる 原単位の項目名																								
「消耗品(ワックス)」 想定使用期間における投入量	一次 または シナリオ	「消耗品」 製造原単位																								
「消耗品(ワックス)」 生産サイトから使用者までの輸送量(ま たは燃料使用量)	※1	「輸送手段」 輸送原単位																								
「廃棄物等(梱包資材)」 「廃水」 ※2																										

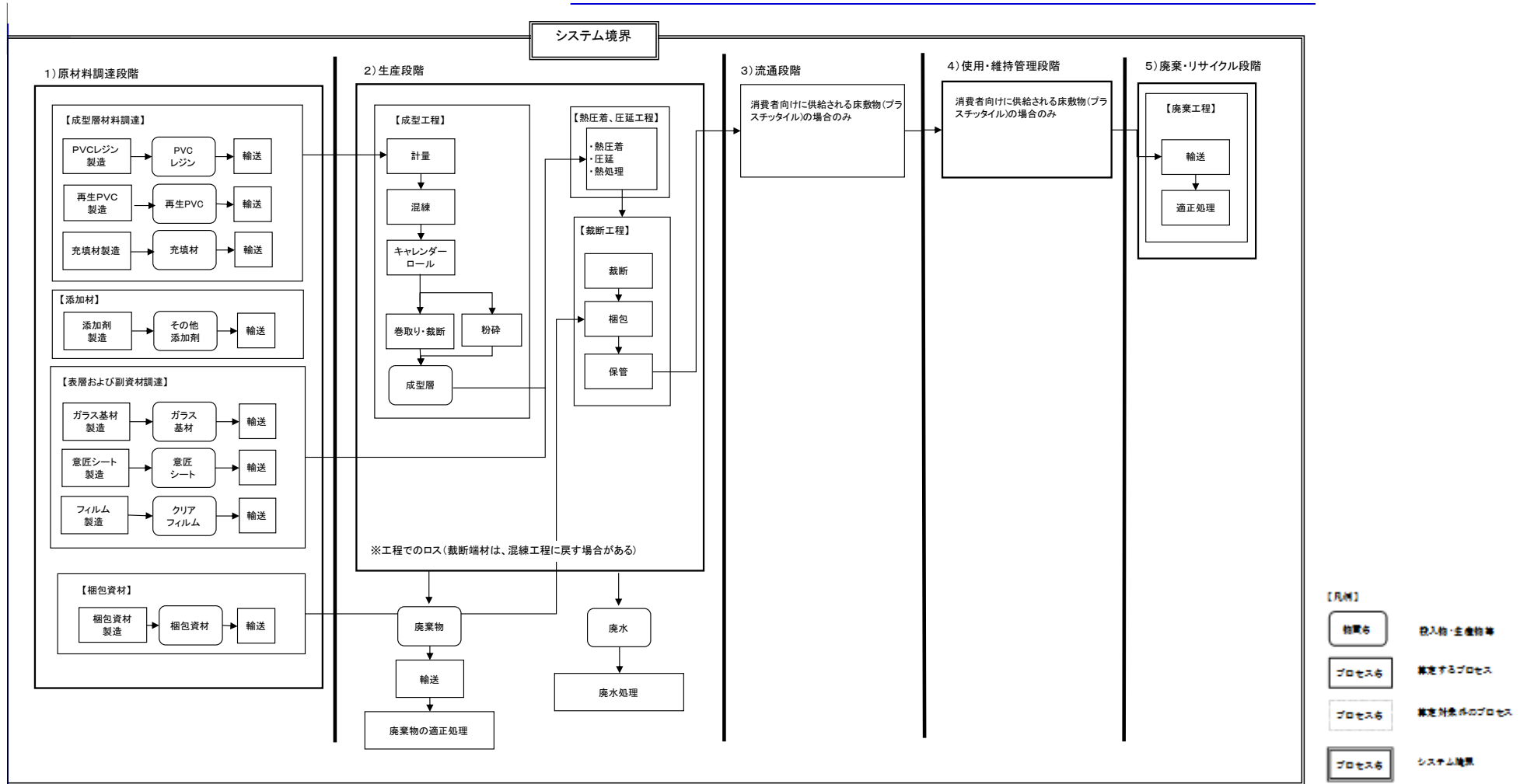
		※2 廃棄物等および廃水については、8-2 に順ずる。															
10-3	一次データの収集方法 および収集条件	特に規定しない。															
10-4	シナリオ	<p>【施工に関するシナリオ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工の際の接着剤塗布量については、450 g/m² とする。 (参考:メーカー3 社 接着剤標準使用量 300~450 g/m²) <p>【ワックスがけに関するシナリオ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 回のワックスがけの GHG 排出量については付属書 C(規定)を使用してもよい。 ・ワックスがけの回数は2回/年とする。 ・ワックスがけに係るプロセスについては、製品ごとに想定年数(想定使用年数)を元に、使用段階における GHG 排出量を算定する。 <p>【廃棄に関するシナリオ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体のロス率(端材)は使用量の5% とする。 (参考:積算資料「2007 住宅と店舗の設計・見積資料」(建築工事研究会編) 内装工事 木製フローリングにおけるロス率3~5%) ・一次データの収集が困難な場合は、使用・維持段階における廃棄物(梱包資材・本体の端材)の処理は、焼却処理100% とする。 															
10-5	その他	特に規定しない。															
11	廃棄・リサイクル段階に適用する項目																
11-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	①「使用済み製品」の廃棄プロセス 廃棄プロセスには、使用済み本体の輸送、適正処理が含まれる。															
11-2	データ収集項目	<p>次表に示すデータ項目を収集する。</p> <p>① 「使用済み製品」の廃棄プロセス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる 原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「使用済み製品」 処理方法ごとの排出量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「各処理方法」 原単位</td> </tr> <tr> <td>「使用済み製品」 各処理施設への輸送量(または燃料 使用量)</td> <td>※1</td> <td>「各輸送手段」 原単位</td> </tr> <tr> <td>「使用済み製品のうち化石資源由来 成分」 焼却処理の量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「各化石資源由来成 分焼却」 原単位</td> </tr> <tr> <td>「使用済み製品のうち有機物成分」 埋立処理の量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「各有機物成分」 嫌気性分解原単位</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 輸送量(または燃料使用量)については、7-2 に順ずる。</p>	活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる 原単位の項目名	「使用済み製品」 処理方法ごとの排出量	一次 または シナリオ	「各処理方法」 原単位	「使用済み製品」 各処理施設への輸送量(または燃料 使用量)	※1	「各輸送手段」 原単位	「使用済み製品のうち化石資源由来 成分」 焼却処理の量	一次 または シナリオ	「各化石資源由来成 分焼却」 原単位	「使用済み製品のうち有機物成分」 埋立処理の量	一次 または シナリオ	「各有機物成分」 嫌気性分解原単位
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる 原単位の項目名															
「使用済み製品」 処理方法ごとの排出量	一次 または シナリオ	「各処理方法」 原単位															
「使用済み製品」 各処理施設への輸送量(または燃料 使用量)	※1	「各輸送手段」 原単位															
「使用済み製品のうち化石資源由来 成分」 焼却処理の量	一次 または シナリオ	「各化石資源由来成 分焼却」 原単位															
「使用済み製品のうち有機物成分」 埋立処理の量	一次 または シナリオ	「各有機物成分」 嫌気性分解原単位															
11-3	一次データの収集方法 および収集条件	特に規定しない。															

11-4	シナリオ	【廃棄に関するシナリオ】 ・適正処理に関して一次データの収集が困難な場合は、廃棄物の処理は、焼却処理 100 % とする。
11-5	その他	特に規定しない。
12	CFP 宣言方法	
12-1	追加情報	特に規定しない。
12-2	登録情報	【必須表示内容の規定】 次の項目は表示をしなければならない。 ・ 使用・維持管理段階の算定方法(シナリオ) 【推奨表示事項】 ・経年変化による削減率の表示 ・形状・厚みの変更による削減率の表示
12-3	その他	特に規定しない。

附属書 A.1:最終消費財としてのプラスチックタイル ライフサイクルフロー図(規定)



附属書 A.2: 中間財としてのプラスチックタイル ライフサイクルフロー図(規定)



附属書B：輸送シナリオ（規定）

一次データが得られない場合の輸送シナリオを次に示す。

ライフサイクル段階	設定シナリオ
原材料調達段階	<p>① 原材料調達輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内輸送は10トントラックで500km片道輸送、積載率50%とする。 ・国際輸送は、国内輸送シナリオ（海運輸送前後の陸運共）にバルク運送船（80,000DWT以下）での海運輸送を追加して計上する。
生産段階	<p>① 生産段階内でのサイト間輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内輸送は10トントラックで500km片道輸送、積載率50%とする。 ・国際輸送は、国内輸送シナリオ（海運輸送前後の陸運共）にバルク運送船（80,000DWT以下）での海運輸送を追加して計上する。
	<p>② 廃棄物等の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送は2トントラックで100km片道輸送、積載率50%とする。
流通段階	<p>① 製造サイトから店舗等（宅配の場合は家庭）までの輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内輸送は10トントラックで1,000km片道輸送、積載率50%とする。 ・国際輸送は、国内輸送シナリオ（海運輸送前後の陸運共）にバルク運送船（80,000DWT以下）での海運輸送を追加して計上する。
使用・維持管理段階	<p>① 接着剤・ワックスの輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内輸送は10トントラックで500km片道輸送、積載率50%とする。 ・国際輸送は、国内輸送シナリオ（海運輸送前後の陸運共）にバルク運送船（80,000DWT以下）での海運輸送を追加して計上する。
	<p>② 廃棄物等の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送は2トントラックで100km片道輸送、積載率50%とする。
リサイクル段階	<p>① 廃棄物等の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送は2トントラックで100km片道輸送、積載率50%とする。

附属書 C : ワックスがけシナリオ設定の考え方 (参考)

この CFP-PCR における、一次データが得られない場合の使用・維持段階のワックスがけシナリオを次に示す。

ワックスがけのシナリオについて

- プラスチックタイル 1 m² 当たりのワックス使用量: 10 [mL] (一般的なワックスの使用量)
- ワックスの比重: 1.02 (一般的なワックスの比重)
- ワックス 1 kg 当たりの GHG 排出量: X [kg-CO₂/kg] (事務局が提供した参考データを使用すること)
- プラスチックタイル 1 m² を 1 回ワックスがけした時の GHG 排出量: Y [kg-CO₂/m²]

$$Y = 10 * 1.0e-3 [L/m^2] * 1.02 [kg/L] * X [kg-CO_2 e/kg]$$
$$= 1.02e-2 * X [kg-CO_2 e/m^2]$$

文献

- (株)リンレイ:フロアーワックス
URL http://www.rinrei.co.jp/home_care/category/item/premise_wax/item_02.html [平成 23 年 9 月 1 日参照]

【CFP-PCR 改訂履歴】

認定 CFP-PCR 番号	公表日	改訂内容
PA-CL-02	2013 年 9 月 24 日	① 対象製品の名称を「床敷物」から「プラスチックタイル」に変更。 ② CFP制度試行事業よりCFPプログラムへの移行に伴うルール改定の反映およびCFP-PCR書式に対応するよう旧フォーマットから変更。